

定稿

令和元年度 第2回高等学校入学者選抜審議会 記録

令和元年11月25日(月) 10:00~11:00

県庁11階 第二会議室

<審議会委員>

柴山 直 委員長, 田端 健人 副委員長, 坪田 益美 委員, 伊藤 宣子 委員, 加藤 由香利 委員,
村上 裕子 委員, 石塚 一江 委員, 志賀 琢 委員, 橋本 牧 委員, 村上 善司 委員,
久保 義洋 委員, 粟野 琴絵 委員, 徳能 順子 委員, 岡 邦広 委員

(欠席: 岩田 光世 委員, 川嶋 輝彦 委員)

<県教育委員会>

松本 文弘 教育次長, 大町 久志 教育企画室長, 奥山 勉 義務教育課長,
伊藤 俊 高校教育課長

(欠席: 伊東 昭代 教育長, 千葉 章 教育次長)

事務局	(資料の確認) (公開の確認)
	(開会)
教育次長	(教育次長 あいさつ)
事務局	(県教育委員会の主な出席者紹介) ここからは進行を委員長にお願いします。
委員長	(委員長 司会進行開始) 本日は、「令和3年度宮城県立高等学校入学者選抜方針」及び「令和3年度宮城県立高等学校入学者選抜日程」についての答申をまとめることとなっている。限られた時間ではあるが、多角的な観点から慎重な御審議をお願いしたい。 まず、次第の「2 審議」について、資料1を御覧いただきたい。7月の第1回入選審の際の諮問があった、 (1)「令和3年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について」と、 (2)「令和3年度宮城県立高等学校入学者選抜日程について」について、第1回に引き続き審議したい。 それでは事務局から、答申案について、まず(1)入学者選抜方針について、説明をお願いします。
事務局	(事務局より説明)
委員長	ただ今、説明があった選抜方針について審議する。御意見をお願いします。 <意見なし> 時間をかけて審議してきたものである。選抜方針について結論をまとめたい。意見がないようであれば、案のとおり答申する。いかがか。 <異議なし> では、令和3年度入学者選抜方針は、諮問どおり答申することとする。 次に、「(2)選抜日程について」審議を行う。事務局から、答申案について説明をお願いします。
事務局	(事務局より説明)
委員長	ただ今の日程についての説明及び答申案について、審議したい。御意見を伺いたい。
伊藤委員	非常に厳しいスケジュールの中、事務局の方でいろいろと精査していただき、そして、1日も早く、次年度の入学生の姿を見たいというところにお応えいただいたことに感謝申し上げたい。

委員長	<p>他に御意見はあるか。中学校側からの意見はあるか。 高校側からは何か意見はないか。 中学校・高校以外の立場の委員からも意見があればいただきたい。 <意見なし> それでは、それぞれの立場から、異議がなかったということなので、結論に入りたい。これまでの議論を踏まえると、令和3年度の選抜日程については、事務局から出された修正案ということで、いかがだろうか。 <異議なし> 令和3年度入学者選抜日程は修正案のとおり答申することとする。 それでは、「3 答申」に移る。</p>
委員長	<p>それでは、答申文を確認した後に、答申したいと思う。まず、答申文を確認願う。 (答申文の確認) 皆さん、これでよろしいか。 それでは問題ないようなので答申する。 <答申鑑に押印> (答申鑑読み上げ)</p>
委員長	(答申鑑読み上げ)
教育次長	(答申挨拶)
委員長	<p>それでは、答申については、以上で終了する。 続いて「4 報告」に移る。「(1) 令和2年度宮城県公立高等学校入学者選抜事務について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>何か質問はあるか。 なければ、(2) その他として「入学願書の性別の扱いについて」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(説明)
委員長	<p>何か質問はあるか。 <質問なし> 予定の議事はここまでだが、その他、委員の皆様から何か意見はあるか。</p>
村上善委員	<p>今年度から前期選抜と後期選抜が一本化される。私が勤務する地区の中学校でも新入試に向けた準備を一生懸命取り組んできたところだ。当地区の高等学校では、1学級減という学校もあり、当初は中学生や保護者に動揺等が感じられたが、高等学校のこれまでの御尽力により今のところはスムーズに来ていると思っている。感謝申し上げたい。それでも、この一本化は生徒や保護者にとっては大きな転換期であるので、今後も説明会やオープンスクールをより積極的に行っていただき、中学3年生が高い志を持って進路選択が出来るようにお願いしたい。</p>
委員長	<p>大変貴重な御意見と情報をいただき感謝申し上げます。これから引き続きその旨を心得ながら進めていきたい。 他に御意見はあるか。</p>
村上裕委員	<p>調査書の様式についてである。今の調査書様式はだいぶ前から使っているものだと思うが、入試制度が変わるということで、調査書についても見直しが必要であると考えている。これからの入試はすべての生徒が、平等で、間口を広く、すべての生徒に可能性があるということが一番の大事なポイントだと思う。中学校の教師と生徒がちゃんと向き合っていることが、しっかりと現れてくるような調査書になることを望む。高校に提出する資料としては、調査書のみになると思うので、とても大事な資料だと考える。点数化するだけの資料ではなく、生徒を送り出す中学校の気持ちも現れるような内容であって欲しいと願っているため、今後検討していただければと考えている。</p>
委員長	<p>御意見ありがたく思う。他にあるか。</p>

伊藤課長	2名の委員から話をいただいたが、新しい入試制度になったからといって、そこで終わりになるわけではない。実際に実施してみて、調査書の在り方がどうであったか、中学校側や高校側の教員から見てこの入試制度がどうであったかということを検証していく必要がある。これまでの発言も踏まえて、毎年毎年改善を加えながら、最善のものになるように、我々も努めていきたい。御意見に感謝申し上げます。
委員長	他に御意見はあるか。
事務局	審議会から答申をいただいた件については、12月の教育委員会で決定した後、中学校や高等学校に周知していきたい。
委員長	本日の審議はここまでとする。進行を事務局にお返しする。
事務局	(閉会)